

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第1回図書館運営協議会
開催日時	令和7年10月21日（火）午後2時～午後3時42分
開催場所	戸田市立中央図書館2階 視聴覚室
委員長等氏名	会長 石川 敬史
出席者氏名 (委員)	会長 石川 敬史 副会長 雨宮 明美 委員 渡部 淳子 委員 若林 寛子 委員 小代 元志 委員 増渕 洋一郎 委員 茂呂 理絵
欠席者氏名（委員）	無
説明のため出席した者	無
傍聴者	無
事務局	教育委員会事務局 教育部長 川和田 亨 生涯学習課 課課長 中沢 英明 主幹 小山 隆 主事 小林 未波 司書 宮澤 ゆかり
指定管理者	中央図書館長 後藤 有功 上戸田分館長 丸山 怜依

議 題	(1) 令和6年度図書館事業報告 (2) 令和7年度図書館上半期事業報告 (3) 第3次戸田市子どもの読書活動推進計画の報告 第4次戸田市子どもの読書活動推進計画の報告 (4) 図書館に関する戸田市議会定例会一般質問の報告 (5) その他
会議結果	生涯学習課図書館担当・戸田市立中央図書館及び上戸田分館指定管理者から議題の内容について報告があり、報告事項に対して図書館運営協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別添のとおり
会議資料	(1) 令和7年度第1回戸田市立図書館運営協議会次第 (2) 戸田市立図書館運営協議会委員名簿 (3) 戸田市立図書館運営協議会事務局名簿・指定管理者出席者名簿 (4) (資料1) 令和6年度図書館事業報告 (5) (資料2) 令和7年度上半期図書館事業報告 (6) (資料3) 第3次戸田市子どもの読書活動推進計画 (資料3) 第4次戸田市子どもの読書活動推進計画 (7) (資料4) 図書館に関する戸田市議会定例会一般質問の報告 その他 令和7年度図書館要覧
議事録確定	令和7年11月5日 会長氏名 石川 敬史

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会 定刻となったので、令和7年度第1回図書館運営協議会を開催する。この協議会は、戸田市立図書館の円滑な運営を図るため、戸田市立図書館条例により設置するものである。 事前配布資料（1）～（7）の確認
事務局	2 委嘱状の交付 会議に先立ち、委嘱状交付式を行う。 委嘱状の交付は、机上のものを委員に確認してもらう。 今回、令和7年3月31日をもって退任された新曽中学校前校長小高委員の後任として、学校教育及び社会教育の関係者として新曽中学校校長の渡部委員を選出した。 本日の会議は、小代委員から遅れて参加するとの連絡をいただいているが、会議は成立要件となる過半数の出席を満たしている。
事務局 委員	3 教育委員会あいさつ 代表として教育部長より挨拶 挨拶の後、公務の都合で教育部長、退席する。
事務局	4 委員・事務局・指定管理者の紹介 順次自己紹介をする。
事務局	5 議事 次第5の議事に入る。 議事の進行については、戸田市立図書館条例施行規則第25条第2項の規定により、会長が務めることとなっているので、石川会長にお願いする。

会長	議事（１） それでは、これから議事に入るが、本日は傍聴人がいないことを報告する。
会長	議事（１）令和６年度図書館事業報告について説明をお願いする。
中央図書館長	議事（１）令和６年度図書館事業報告については、資料（４）「令和６年度図書館事業報告」を参照 補足として 令和６年度の利用状況について、資料の２ページに定量的な報告を載せているが、中央図書館、３分室、駅前配本所の来館者数の合計が、令和５年度に比べて１３％プラス、貸出数は４％プラスという好結果となっている。 令和６年度は、指定管理期間５年間の総仕上げの年だったので、次の５年に向けてサービスの充実とフィールドの拡大をテーマに取り組んだ一年であった。 具体的に中央図書館が実施した事業については資料の４ページ以降で紹介しているが、初めて実施した事業も多く、例えば大人向けの映画会の中で１６ｍｍフィルムの上映を実施して、シニア層の来館者を増やしたり、女性をターゲットに花の寄せ植え講座を行い、図鑑の活用をあわせて紹介したり、ＹＡ世代の来館者を増やすためにボードゲームのイベントを実施したり、様々な取り組みを行った。 また、戸田公園管理事務所との共同イベントとして、戸田公園管理事務所へ出向いてボート関連イベントを実施したり、下戸田公民館のイベントに参加したり、新たなフィールドでのチャレンジも行った。 図書館の居場所機能という点では、戸田市が実施している「青少

上戸田分館長	年の居場所」を図書館でも開設してもらい、YA 世代の来館者の増加を狙った。 また、おはなしボランティアの協力で、利用者アンケートで要望の多かった平日の午前中におはなし会を開催し、乳幼児をもつ保護者の参加を増やすこともできた。 出前講座においても、戸田かけはし高等特別支援学校の生徒さんに来館してもらいイベントを開催したり、市内の学童保育室へ出向いて本の修理講座を行ったり、新たなフィールドでの開催を実現した。 他にも、中央図書館の 1 階ロビーで新曽中学校吹奏楽部の皆さんにミニコンサートを開催してもらい、145 人もの人が集まり大盛況だった。地元の学校の皆さんとイベントをやると多くの人に来館してもらえることも実感できた。 こういった数々のチャレンジが、令和 6 年度の来館者増加につながったのだと思っている。 最後に 12 ページのアンケート実施について、令和 5 年度には回収数が 300 代まで落ち込んでいたが、令和 6 年度は 507 件という数字まで引き上げることができた。 また、幅広いご意見を頂いたので、それらは今年度の運営に結び付け、更なる利用の増加に繋げられるようにしているところである。 議事（1）令和 6 年度図書館事業報告については、資料（4）「令和 6 年度図書館事業報告」15 ページからを参照 補足として 16 ページの施設利用状況報告について、令和 5 年度と比べて、令和 6 年度は全体的に数字が上向いている。来館者は 10 %、利用者数は 3 %の増加となっている。
--------	--

事業報告については17ページ以降に掲載しているが、補足すると、18ページの「特別版おはなし会」では、図書館ではない普段とは違う会場で開催し、従来の参加者とは違う人たちに対して本と触れ合う機会を作れるようにした。

例えば、あいパルフェスタというイベントの中で開催した「あおぞらおはなし会」では、ステージで大型絵本を使っておはなし会を行った。親子連れだけでなく、色々な世代の方がステージ前に集まってお話を聞いてくれた。

また、「お寺でこわいおはなし会」では、近くの海禅寺に出向いておはなし会を実施した。こちらは大人だけの参加者も多く、普段とは違う年齢層の方にもおはなし会を楽しんでもらえた。

次に19ページの「学習支援・図書館利用促進」の③、少し年齢が上の子どもを対象にした「めざせ！ジュニアライブラリアン」というイベントは、行政書士の先生に協力してもらい、図書館法などの簡単な説明や、クイズを使って法的なものの見方を学んだあとに、実際、図書館の仕事を体験してもらうという講座で、夏休みに6名の参加があった。

大人向けの事業では、21ページの⑤「絵本カフェ」、こちらは昨年度から始めた事業で、誰もが親しみのある絵本や昔話をテーマとして、集まった人同士で交流するというイベント。テーマは毎月、変えて実施している。

例えば、「桃太郎」の回では、最初に職員から、複数の桃太郎のストーリーの違いを紹介し、参加者には桃太郎に関する思い出を語ってもらったり、用意した絵本を見て気づいたことなどを話してもらったりするイベントで、回を重ねていくうちに、参加者同士で友達になっている様子も見られるようになった。

22ページの「ボランティアとの協働・団体支援」では、小学校

	からの施設見学の受入や PBL（課題解決型学習）連携、鶴見大学からのインターンシップ受入れ、戸田翔陽高等学校写真部による写真展示も行った。写真部の写真については、あいパルのミニコミ誌の表紙をお願いしていたので、その中の作品を中心に展示した。 「企画資料展示」としては、今、あいパルの館内では、色々な場所で展示している。中央地域包括支援センターとの連携展示、上戸田地域交流センター講座内での資料展示など専門機関との連携や複合施設としての機能を活かして、多くの人に図書館を知ってもらう機会を作っている。 ⑧の「外部連携」では、7月に彩湖自然学習センターと連携し、虫の標本と本の展示を実施。2月には新曽中学校生物育成研究部のレポート発表と関連図書の展示を行った。 27ページ「利用者へのアンケートの実施」については、新サービスについて「知らなかった」という回答が多かったため、上戸田分館ではミニコミ誌を利用してサービスの周知に務めている。
会長	令和6年度事業報告について、意見、質問等あればお願いします。
会長	私の方から2点、質問させてもらう。 両館とも、統計では入館者数、貸出冊数、共に前年度と比較して増加しているが、図書館業界では、今、入館者数も貸出冊数も減少傾向にある。そんな中で、増加に至った背景は何か。肌感覚でもいいので、あれば聞かせてほしい。 また、今回、非常に多くの事業を展開していて、数年前と比較すると、かなり多くの市民や団体、教育機関との連携企画を行い、優れた成果を出しているが、もし、次年度に向けて見えてきた課題があれば、それも聞いてみたい。

中央図書館長	来館者の増加については、2点、要因があると思う。一つは、おはなし会の開催時間を一部、午前中にしたことで、来館者が増えたという実感がある。数値で見ても、おはなし会全体の参加人数は、令和5年度が518人だったのに対して、令和6年度は868人と、350人も増加している。 開催時間変更については、おはなしボランティアのリーダーの方から、乳児を抱えたお母様が親子で行ける場所が少ないので赤ちゃん向けのおはなし会をやりたいという話があった。更に、現状、参加者の少ない午後開催から、親子が参加しやすい午前中に変更してみてもどうかというアドバイスをもらい実現に至った。結果、実施後は、おはなし会の利用者が顕著に増え、赤ちゃんおはなし会のニーズが高いことがわかった。 二つ目の要因としては、学習席の利用が増えたという点。学習席の利便性を高めるために、全席、電源を使えるようにし、長時間の利用を可能にした。結果、学生の利用が増えたように思う。 また、これら2点の要因で増えた来館者が、貸出数を押し上げる要因にもつながったと考える。 課題については、学習席の利用が増えたのは良かったが、マナーの悪い人も増えてきたので、そこは課題となった。あとは来館者数が14%アップなのに対して、貸出数は4%しかアップしていない点について、イベントでの利用促進が足りていないという印象がある。イベントに絡めて本を借りてもらえる仕掛けがもっと必要だと思うし、まだまだイベントの周知も足りていないと感じる。そういったところが課題である。
上戸田分館長	利用増加の要因については、あいパルのイベント開催に合わせて

会長	来館する利用者が増えたというのが大きい。また、夏休みのおはなし会を1日2回開催したり、おはなしだけでなく、例えば、野菜のスタンプを大きな紙に押して作品を作ったりして参加者を増やした。イベントの際には、関連本の紹介もしていたので、貸出が増えたのもイベントの参加者増加に伴って増えたものだと思う。 あとは、グループ学習室の利用を親子利用ができるよう変更したことで、リピーターも増え、利用者の増加につながった。 課題としては、やはり、イベントの周知という部分。また、イベントの参加者の中に、常連の方が増えている印象があるので、今後は新規の利用者も増やしたい。それには、参加者が職員の手を離れ、講座の中心的なメンバーとなり、サークルを作って独自に活動してくれるとよい。その分、職員は別の講座を開催し、新規の参加者を増やすことができる。 イベント開催については、多くの魅力的な活動を展開していて、個人的には、公の場で、この経験を発表してもらいたいと思っている。 また、今、上戸田分館長の発言にもあったが、講座については市民が個として参加するのではなく、参加して、その中で横の繋がりを作り、交わることを大切にしていくと、次の展開に進んでいくのかなと感じた。
副会長	来館者が増えているのは、おはなしボランティアをやっている私も、活動していて実感している。昨年度は「中央図書館のロビーが暗く感じる」と発言したが、最近はとても明るくなったと感じている。全てにおいて、前向きに取り組んでいる様子が伺えるので、この先の5年間も楽しみだと思った。

中央図書館長 上戸田分館長 会長	横の繋がりというのを聞いて思いついたのだが、例えば、中央図書館と上戸田分館で連携してスタンプラリーのようなものを実施するとか、市内の図書館の講座を受けたらスタンプが貰えるとか、両方の指定管理者の枠を超えて連携するような、そういう繋がりがあったもいいのかなと思った。 議題とは関係ないが、資料について、中央図書館と上戸田分館で使用している年号が和暦と西暦で違っているので統一してほしい。 拠点館の繋がりについては、いいヒントになったので、色々と検討していきたいと思う。 上戸田分館の利用者は、中央図書館も利用している人がいるので、それぞれの利用者をお互い取り込めるような取り組みができればよいと思う。 上戸田分館から美笹分室は少し遠いが、図書館ツアーのようなものがあれば、行くきっかけにもなると思うので、ぜひ、検討したい。 他に意見、質問等がないようなので、議事(1)については、以上とする。
会長 中央図書館長	議事(2) 次に、議事の(2)令和7年度図書館上半期事業報告について説明をお願いします。 資料(5)「令和7年度上半期図書館事業報告」に沿って報告する。 令和7年度は、第2期のスタートとして様々なチャレンジをしている。まず、PFSを意識して、県内で実績のある副館長3名を呼び体制を整えた。その3名に人を呼べるユニークなイベントを実施

	してもらい、来館者数、利用数のアップを目指している。 館内が明るくなったと感じるのは、その効果の表れだと思っている。 今年度の取組については、資料の3ページから紹介している。1のあかちゃんおはなし会は、昨年度の報告でも触れたが、今年度から正式導入し、好評を得ている。託児サービスについては、利用者からの要望を受けて、週一回の開催を週二回に変更した。一日の利用回数も1回までとしていたものを、空きがあれば延長できるよう仕様変更した。資格の勉強に来ているお母様からは大変ありがたいと感謝された。 併せて、ハード面の充実も図っている。本の除菌機は最新式のものを導入した。また、席だけ確保してどこかへ行ってしまう等、学習席のルールを無視する利用者の扱いに困っていたので、この問題を解決するために2階の学習席に対し座席予約システムを導入した。 課題解決のための取組みとしては他に、近年、休刊が増加している雑誌について、Webや電子に移行している雑誌も多いため、当館の電子図書館で雑誌読み放題サービスを取り入れ、対応した。 また、配布した資料には記載していないが、読書手帳のリニューアルを行った。読書手帳については、周知が足りなかったこともあり、サービスがなかなか浸透しなかったが、もっと子どもたちに利用してもらえるよう運用を改善した。例えば、今までは達成してもスタンプが貰えるだけだったが、シールや缶バッジ等魅力的な景品を付けることにした。また、達成するまでのハードルも少し下げることにした。 サービスの周知不足という課題への対処としては、Xを開設した。大宮の図書館でフォロワー数の多かった副館長が今年度から異動し
--	---

	て来たので、日々、楽しい情報発信をしてもらっている。見ている方からは好評を得ている。 また、更に利用者数をアップするためのイベントとしては、埼京線40周年に絡めてJRとコラボする等、利用者が興味を持ってくれるようなイベントを実施しているところ。 書架についてはレイアウト変更をして、コミックコーナー、学習漫画コーナー、子育て支援コーナーを設置した。 こういった新たな取り組みの成果として、2ページの統計を見てもらうとわかるが、8月までの数字は前年度と比べると来館者数7%アップ、貸出点数2.6%アップと増加している。 続いて、ユニークな取り組みについていくつか紹介する。一つ目はイオンモール北戸田にブックポストを設置するにあたり、ポストのラッピングは子どもたちに描いてもらった絵を採用しようということで、絵を描くイベントを開催した。 二つ目は、ぬいぐるみおはなし会を夜のイベントとして実施した。 他にも、参議院選挙の期間に、子どもにも投票体験をしてもらおうと、絵本のキャラクターを使った「ぬいぐるみ選挙」を開催した。選挙ではしろくまちゃんが1位となったため、出版社に報告して、来館者に配布できる塗り絵をもらった。 更に、市内の英語教室・ブルーライオンイングリッシュのネイティブの先生に来てもらい、英語のイベントを開催した。非常に楽しいイベントだったので、今後も継続していきたいと思う。 夏休み期間中には、貸出数を増やすため、まとめて本を借りてもらおうと、20冊以上借りた人を対象にオリジナルの缶バッジを作れるというイベントを実施した。 それから、アウトリーチ、外へ出て図書館のことを知ってもらおうと、私立の保育園に売り込みをして、現在、週1回のペースで紙
--	---

上戸田分館長	芝居やペープサートの実演をしている。 YA 向けとしては、学習席を利用している中学生をターゲットに、埼京線沿線の高校に出向いて、各学校の特徴や取組み、学校の中の人でないと知らないような情報をインタビューして、壁新聞のような形態でロビー展示した。 実は、このときの取材で訪問した大宮工業高校で、ミニ新幹線を使ったイベントを各所で行っているという話を聞き、それが、先日、当館で行ったミニ新幹線に乗る鉄道イベントに繋がった。 また、教頭先生からは、今年は戸田市の新曽中の生徒さんからの応募が多いと言われ、様々な二次的効果を生んだ企画だったと思った。 ロビー展示では、もう 1 件、今年、本屋大賞を受賞した「カフネ」という小説の表紙に使われた陶器と同じ製作者による陶器を借りて、本と一緒にロビー展示をした。 以上、令和 7 年度は、色々な切り口でユニークな取り組みをしている。その結果、8 月までは来館者数も貸出数も順調に伸びていたが、9 月は少し苦戦したため、10 月以降、また、年度末に向けて盛り返して行こうと思っているところである。 資料(5)「令和 7 年度上半期図書館事業報告」に沿って報告する。 先程、昨年度の実績については評価してもらったところだが、今年度については、来館者数 99.5%、利用者数 99.3%ということで減少傾向にある。今後は、気候も良くなり読書週間もあることから、イベントを充実させて来館者数の増加を図っていきたいと考えている。 18 ページからの事業報告について。例年と違うイベントについて紹介すると、まず、「骨格標本を作ろう」という講座では、スーパ
--------	--

一で売られている手羽先の肉の部分を取り除いて骨の標本を作るという内容のイベントで、毎年、行っているが、今回、7月30日に実施した回では、丁度、館内で彩湖自然学習センターによる鳥に関する展示をしていたので、展示していた鳥の骨格標本を持ち込んで、学芸員から鳥の羽の仕組みを解説して貰うことができた。

また、昨年度から開催している「絵本カフェ」を「読書カフェ」とし、絵本や昔話だけでなく、テーマを広げて開催した。例えば、「星の王子さま」は大変人気で、定員いっぱいの申し込みがあった。

また、今年度は、「読書カフェ」の派生として「ビブリオバトル」も開催した。男性の参加者、市外からの申し込みも多かった。

「パルシアター」の中で、大人向けに名作映画を上映する回があるが、そちらは大変好評で、次回の上映を楽しみにしている人も多い状況のため、今年度は昨年度よりも上映回数を増やそうと考えている。

22ページの団体支援については、Gakken ほいく えん 戸田公園から出前講座の申し込みがあり、メニューにある「出張おはなし会」を開催した。その際、先生から図書館の使い方も教えてほしいと要望があり、出張ではなく、あいパル内の部屋でおはなし会をして、図書館の中も案内しながら利用方法を説明した。

また、あいパルの利用団体である不登校支援団体「老いと幼なのいるところ」から、「上戸田分館には不登校に関する図書がたくさんある。その本をあいパルで活動する際に展示させて貰えないか」という相談があったため、当館の職員が展示する本をリストアップし、先方の意向も聞いた上で出張展示を行った。

展示に関しては、23ページからも紹介しているとおりで、上戸田分館内だけでなく、あいパルのイベントに絡めて館内のあちこちで行っている。また、講座内での展示も、今年から新たに「メンズ

会長	キッチン」の中で初心者向けの料理本を紹介したり、福祉保健センターとの連携事業「禁煙チャレンジ教育」の中でも禁煙に関する本を展示したり、様々な場所で図書館の利用促進を図っている。 令和7年度上半期図書館事業報告について、意見、質問等あれば願います。
副会長	今年度になってから、中央図書館が、ものすごく変わったな、色々なことをやっているなと感じていたが、今回、事前に貰った資料を見て初めて知った取り組みもあり驚いた。 Xも、私自身は携帯に入れられなかったのが娘に頼んで見たが、本当に色々なことに取り組んでいて、こんなにボランティアとして図書館に通っているのに、知らないこともあるんだと身をもって実感した。 とにかく、もっと多くの人に「図書館、変わったよ」ということを知ってもらいたい。今年度になってからは、おはなし会も、閲覧室から離れた場所で行うのではなく、本に囲まれた部屋でできるようになった。それだけでも利用者からの評価は上がった。「赤ちゃんおはなし会」もようやく実現できたし、全てが前進しているように感じる。ただ、やはり、周知が足りない。そこだけが残念に思う。
会長	先程、課題でも周知が足りないという話があったが、その点について、今後の展望があれば聞かせてほしい。
中央図書館長	今年度は、生涯学習課の協力で戸田市の広報誌6月号で図書館の新サービスを紹介するページを作ってもらった。それによる効果は手応えとしてあったので、既存の媒体も効果的に使って行こうと考

上戸田分館長	えている。 また、北戸田のイオンモールにブックポストを設置した時には、戸田市でプレスリリースを出してもらった。それから、今後になるが、ケーブルテレビでの図書館特集も予定している。今までにないPR方法でもあるので期待している。 本当ならホームページのアクセス数やXのフォロワー数を増やす等、既存の媒体で周知をしたいところではあるが、現状では、思うように伸びないところもあるので、新しい媒体を使って周知を広げたいと考えている。 周知については、上戸田分館でも課題となっている。あいパルと合同で作成しているミニコミ誌については、毎月3,000部発行しているので、図書館のPRについて、その中でも地道に続けていこうと考えている。 また、あいパルで、ほぼ毎日実施しているラジオ体操の場では、口コミの力も大きな効果があると感じているので、来館者に直接、周知するということも続けていきたい。それと同時に、図書館に来てくれた利用者には、「楽しかった」「また来たい」というような体験を常に提供できるよう努めていきたい。
委員	多岐にわたるイベントの開催等、色々なところで利用者を増やそうという努力が見える。図書館ではこんなこともやっているのかと、資料を見ていて思った。もっと、色々な世代の人に受け入れてもらえたらいい。 先程も不登校の子たちへの取り組みについて話していたが、たくさん世代の人がこの場所に集まって、ここが憩いの場になったら、学校にいけない子どもたちも図書館を居場所にできるところまで発

事務局	展していくのかなと、そうになったら新しい風というか、今後が楽しみだなと思った。どうにかして、色々な世代に発信できるといいのだが。 事務局から補足させてもらう。昨年度2月に開催したこの運営協議会の場で、委員の皆様から多くのご意見をいただいた。例えば、副会長からは、おはなし会に来てくれる人の数が減っていて、ボランティアの活躍の場がない。可能なら出張おはなし会をやりたいと言われ、この件については早速実現した。この場で得られた意見は図書館運営に活かすことができるものなので、何か思いついたことがあれば、是非、お聞かせいただきたい。
中央図書館長	前回の協議会では、委員の方から周知が足りないことを指摘され、かなり言われたので、非常に頑張って改善に取り組んだ。
委員	周知については、まだ足りてないと思う。これだけ魅力的な取り組みがあるのに、私自身もアンテナは張っている方だが、知らなかったことが多い。「カフネ」は私も読んだが、表紙の陶器が展示されていることは知らなかった。何て惜しいことをしたのだろうと思っている。 周知の方法はもっと工夫ができるはず。例えば、Xで発信するときは、大きなハッシュタグを付けて、広範囲の人の目に触れるようにする。または、Yahoo!ニュースの記者さんに情報を提供して、無料で記事を掲載してもらおう等、ホームページをどうこうではなく、そこへ引っ張るための工夫をしないと、フォロワーは増えない。もっと工夫して、効果的な発信をしてほしい。 それから、以前、あいパルで防災イベントをしたときに、インタ

	ーンシップの学生さんと同じブースにいて、上戸田分館で用意していた関連図書を手にした学生さんが「こうやって本を見られるのはいいですね。手に取りたくなるし、気に入ったら借りて行こうって思う」と言っていた。中央図書館も、館内だけで勝負するのではなく、市民の生活に密着した場所、テーマで、展示して利用に繋げてはどうかと思う。 もう一つ、私の家が東部福祉センターの近くなのだが、最近、東部福祉センターにダイチャリ（シェアサイクル）が設置された。息子がよく利用しているのを見て思いついたのだが、図書館にも設置したら、今まで利用していなかった人たちが立ち寄ってくれるのではと思った。 あとは、大宮図書館の話ですが、学習席目当てで、朝1時間も並んで整理券を貰う人が大勢いる。目的は勉強だけど、帰りに本も借りて帰ってくることがあるという。 来館者数や貸出冊数を増やす工夫は、まだまだあると思う。とにかく、そこへ導くための「引き」が大事だと思う。 「引き」と言えば、上戸田分館では、イベントの際、本を借りるとしおりをプレゼントという期間があって、あいパル好き、図書館好き界限では、それは借りに行かなければとなっていた。
中央図書館長	実は、中央図書館でしろくまちゃんがぬいぐるみ総選挙の開票でトップになったとき、出版社に掛け合って、塗り絵セットを貰い、こっそりと配っていた。
委員	こっそり配らないでください。
中央図書館長	周知して配るほどの数がなかったのが難しかった。

委員	数が足りなくても周知することが大事で、もし、なくなっても、「大変好評で配りきってしまいました。」「また、次、企画するので、来てください。」と言えればいい。それが「引き」になる。
中央図書館長	Xには残っていると思う。
委員	それでいいと思う。
中央図書館長	そういう報告には載らないようなことも、ちょこちょこやってはいるので、今後も続けていく。
副会長	大人でも貰いたいって言う人はいると思うのでね。
委員	そう、貰いたいです。 昔、書店員をやっていた頃、出版社から販促品をたくさん貰っていた。そういうのを活用すればいいと思う。
中央図書館長	はい。もらえた時は、ぜひ、また、活用する。
上戸田分館長	上戸田分館でも、あいパルのお祭りのときに、5冊以上借りてくれた人に風船か、しおりかをプレゼントしたことがあった。この時配布したしおりは TRC さんからいただいたヨシタケシンスケのしおりだった。 確かに、お祭りの間だけ見ると、前年度に比べて貸出数が増えたので、効果があることが分かった。今回は、直前に決めたため周知が足りなかったが、今後は、しっかり準備をしてやっていこうと思

会長	う。 令和7年度の報告については、人と人との繋がりとか、他団体との連携について紹介して貰ったが、このような繋がりには、今後も途切れることなく維持し、発展させていってほしい。先程のミニ新幹線も然り、ぬいぐるみの塗り絵も然り、人とのつながりが次のストーリーになって展開し、新たな取り組みへと繋がっていくのかなと思う。是非、この先も魅力的なものができればと、期待している。 他に質問がなければ、議事（2）については以上とする。
会長	議事（3） 次に議事（3）第3次及び第4次戸田市子ども読書活動推進計画の報告について、事務局より説明をお願いします。
事務局	「第3次及び第4次戸田市子どもの読書活動推進計画」について、資料（6）「第3次戸田市子どもの読書活動推進計画」「第4次戸田市子どもの読書活動推進計画」に沿って説明する。
会長	第3次及び第4次戸田市子ども読書活動推進計画の報告について、意見、質問等あればお願いします。
副会長	小さい子向けの取り組みが多い印象があるが、実際に本を読めない子が増えているのは小学校高学年以上の子ども。学童での話を聞く機会があったが、高学年の子ほど本を読まない、読めない子が多いという。小学生で読まない子は、当然、中学生になっても読まない。中学校の図書室には生徒が来ないし、電子図書館も漫画は読むが活字は読まないという。

事務局	本は心の栄養となるから読んでほしいと考えている。だから、子どもたちには、卒業までに心の友、親友と呼べる本を1冊、見つけて欲しいと伝えているが、今の子どもは「めんどくさい」の一言で終わる。 読み聞かせに行っている小学校でも、「この本は図書館にありますよ」と言っても「行ったことない」とか「面倒くさい」と言われるだけ。この現象の根っこはどこにあるんだろうと考えてしまう。 親の教育も、以前とは大分変わってしまっている。今は小さい子にもタブレットを見せている時代で、病院なんかでも3歳くらいの子がタブレットを持って、指でタップしたりして、そこから、どう読書に繋げていったらよいのか。生涯学習課では、そういう状況の中、読書活動推進計画をどう進めているのか教えて欲しい。 私たちも、身近なところから、どうにかしたいと思っている。最近、子供食堂からも読み聞かせに来てほしいと依頼がある。子供食堂に来る子どもたちは、親御さんと接する機会も少ないので、読み聞かせをしたり、図書館へ行ったりもしないのだろう。本を知っている子が少ない。本当は、そういうところへもケアが行き届くといいと思う。 資料を見てもらうとわかるように、本を読んでいる子どもの数が、目標値に達していない。数値を上げるには、読書活動推進計画はすべての世代、家庭と学校、地域で取り組んでいかなければならないと考えているが、特に家庭における読書推進と、読書離れが加速する中学生への支援強化を目標にして、指定管理者とも協力して計画の実行を進めている。 最終的には、読書が身近にあるという環境を目指したい。
-----	---

事務局	今、本を読む習慣がない子に、いきなり本を読ませるというのは非常に難しいと感じている。今年度から中央図書館で「赤ちゃんおはなし会」を開催しているが、まずは、そういった乳児とその親を対象に本と触れる機会を増やしていきたい。また、その先も、年齢毎に参加できる図書館のおはなし会やイベントを通して、途切れることなくサポートしていくことが大事だと考えている。
会長	私から2点、取り組みについての提案がある。 一つは、例年のように話をしているが、学校図書室整備について。常に図書室の中に人がいる環境を整備してほしい。フルタイムで人がいることで空間が整備される。子どもたちの生活導線に、本を手にとれる環境をいかに作るかが課題だと考える。個人的には読書活動推進計画の中で、学校図書室の整備は優先順位が非常に高いことだと思っている。 ある自治体では、図書館の中に、学校図書室のコーディネーターを配置していて、巡回しながら、各学校を見て回ったり、アドバイスしたりしている。担当者は学校の先生で、訪問先の学校司書の研修もやったり、調べる学習コンクールを展開したり、講座を展開したりしている。こういう方法で整備していくこともできる。 二つ目は、市内に、誰もがいつでも本を手にとれる環境を作るという取り組みで、これも他自治体での例になるが、商店等、街中図書館にして、人と本を繋げる。そういう取り組みで、マスターの好きな本とか、店主が好きな本とかを、店の片隅に置いて、生活導線の中に、本を手にとれる環境を作るという取り組み。 最近、若い人の中で、独立系書店とかシェア型書店というのが展開されているが、私のゼミの学生もさいたま市の本屋さんに出店していて、本を媒介としながら人と人が繋がっていくという、本を

事務局	出店した人の顔が見える本棚で、人と人との出会いを演出する本屋となっている。 このような市内の中での演出というのも、一つ、地域の読書活動を活性化する方法になる。 こちらは長期的な視点での取り組みとなるが、学校図書室については、どう考えているか聞かせてほしい。 学校との連携は大事だと考えているが、今、ようやく、教育政策室の人と打ち合わせすることが叶ったところで、何ができるかは今後の話次第となる。
会長	図書館のシステムを統一して連携するとか、物流的な展開で小学校や中学校へ本を借りてもらうとか、中央図書館も上戸田分館もおはなし会は出張で行っているが、団体貸出で本を貸し出すというのも展開できると思う。
副会長	私も本サポさん（学校図書室整備員）は、週に2回、3回ではなく、常時いる環境を整えてほしいと思う。
委員	私は、県立の高校で司書教諭をしているが、担任も持っているので、始終、図書室にいるわけではない。常駐している司書がいたら、一緒に何かすることができるし、もっとできることの幅が広がるのだろうと、日々、感じている。
会長	他に意見等ないので、議事(3)については以上とする。

会長	議事（４） 次に議事（４）「図書館に関する戸田市議会定例会一般質問の報告」について説明をお願いします。
事務局	資料（７）「図書館に関する戸田市議会定例会一般質問の報告」に沿って説明
会長	「図書館に関する戸田市議会定例会一般質問の報告」について、意見、質問等あればお願いします。
会長	特に意見等ないので、議事（４）については以上とする。
会長	議事（５） 次の議事（５）その他については、事務局より説明をお願いします。
事務局	本日の図書館運営協議会の結果については、議事録を作成し、ホームページで公開する。また、次回開催については、来年２月頃を予定している。
会長	事務局の説明について意見や質問はあるか。 特になければ、議事（５）については以上とする。 本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局にお返しする。
事務局	６ 閉会 以上で令和７年度第１回図書館運営協議会を閉会とする。 議事終了 閉会 午後３時４２分

